

## 世界への切符を JEARN から始めよう！

あいさつ

この度 JEARN の理事長の役を承りました金沢星稷大学の清水和久です。

私が JEARN にかかわるようになったのは、2003 年に iEARN の世界大会が淡路島であった時からです。当時は、公立小学校の教員をしており、1997 年からネットを使って台湾の小学校と国際交流を始めていました。淡路島で初めて世界中から来た先生方と出会い、世界の教育者がつながり、その児童生徒がつながることの面白さを実感しました。2006 年からは現場を離れて行政で情報教育の研修の担当となり、インターネットを使った国際交流の講座をつくり現場に広めてきました。2011 年からは金沢星稷大学に籍を移し、情報教育と国際教育を専門とし、教員を目指す学生に国際協働学習の可能性について教えています。また現場の先生の国際協働学習の支援も行ってきました。

JEARN は、子どもを世界につなげる窓です。「主体的で対話的で深い学び」が求められている今、JEARN を通して iEARN につながることは、英語を使う必然性を感じることができ、現実に実在する同世代の人と学ぶことの意味を考えさせることができます。2020 年からは小学校での英語が教科として扱われます。国際交流はそのベースの活動として重要であり、国内交流では「同じ日本人でも地域によって相違があること」を知ることがゴールなのに対して、国際交流では、「自分たちとは違うと思っていた相手との共通性」を体感することが最終ゴールだと思っています。日本の教育者自身が世界の教育者と草の根的につながり、交流のおもしろさを知ること、子どもたちにも世界の子もたちとつながるおもしろさを体験せたいと思うはずです。

みなさんも JEARN に加入して世界への切符を手に入れませんか？



JEARN 理事長 清水 和久 (金沢星稷大学)

2018 年 7 月 10 日 iEARN Conference & Youth Summit in U.S.A にて